

スマホよろずサロン にはお宝が いっぱい!

こんなつぶやきからお宝が

スマホぐらいなら…

一人暮らしの男性Cさんのゴミ捨てをお手伝いしていた生活支援ボランティアさんは、どんな場を紹介しても否定的で、閉じこもりがちなのが気になっていたそうです。でも、パソコンやICT関連のことが好きで、結構得意らしいので、サロンでうまく解決できないことを聞いてみようかと言ってくれました。

そこでCさんを訪ねて困りごとをつぶやくと、いろいろ答えを考えてくれるように。それを重ねるうちに、「このぐらいでいいなら、ちょっと行ってみようかな」とポツリ。もしかして、いいスマホの先生が見つかったかも!?



新たな担い手が 生まれるきっかけに!

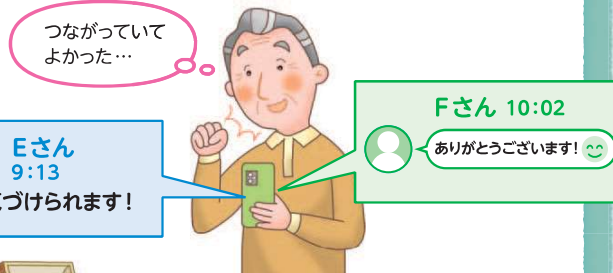
参加者の知っている情報やちょっとした雑談が、地域の貴重な人材発掘のきっかけになることもあります。多くの人が使えスマホだから、協力してくれる人が多いほど、サロンは元気に!

こんなつぶやきからお宝が

ネットでも つながっていてよかった…

以前は様々な場に出ていた男性Dさんは、100歳になる元企業戦士。地域のリーダー役などで大活躍していたものの、難聴気味で外に出なくなっていました。

そんなDさんの今の楽しみは、朝起きて30分のSNSを介した仲間とのやりとり。「いいね」やコメントを書き込むと、「勇気づけられます!」とかえってきて、「元気なときは必要性を感じてなかった。今はネットでもつながっていてよかった」と。高齢になるほど、スマホがつながりの手段になる実例です。



出かけられなくても、 スマホがあればつながりが続く!

高齢になり外出や人付き合いが難しくなったときこそ真価を発揮するのが、LINEなどのSNSです。

場に行けなくてもつながりを維持できて、人の役に立つこともでき、もしものときの安否確認などセーフティネットとしても機能する、これからの高齢者の最強の武器になるんです。



〇〇さんが
教えてくれたら、
みんな上手に
なるかも

閉じこもっている人を無理やりどこかにつなごうとするのではなく、「自分たちが困っているから助けて、協力して」という気持ちが人を動かします。



「いいね」で人を
勇気づけて
いるんですね!

外に出られなくても、いつまでも人をサポートできる。それができるようになったのも、スマホを教えてもらったから!

